

## 那珂川市 日常生活圏域ニーズ調査結果（概要）

令和8年3月24日

### 1 調査の目的

本調査は、那珂川市における高齢者の生活実態を把握し、第10期介護保険事業計画の検討に活用する基礎資料として実施した。

### 2 調査概要

#### 対象

65歳以上の高齢者（要介護認定を受けていない方）

#### 調査対象

2,000人

#### 回答者数

1,501人

#### 回答率

75.1%（前回調査71.2% → +3.9pt）

#### 調査方法

郵送配布・郵送またはWeb回答

### 3 市全体の状況

調査結果から、主観的健康観・幸福感ともに比較的高く、生活状況は概ね良好。

指標	結果
主観的健康観（健康と感じている）	70.6%
主観的幸福感（幸福感が高い）	59.2%
外出頻度	多くの高齢者が定期的に外出

### 4 前回調査との比較

指標	R4	R7	傾向
運動器機能低下	25.2%	25.3%	横ばい
閉じこもり	23.9%	21.0%	改善
転倒リスク	35.7%	37.5%	増加
主観的健康観	69.4%	70.6%	微増
主観的幸福感	58.6%	59.2%	微増

- ・閉じこもりは改善
- ・健康観・幸福感は良好
- ・運動機能は横ばい
- ・転倒リスクは増加

## 5 圏域ごとの特徴

### 圏域別の主な特徴

圏域	高齢化率	主なリスク	特徴
南畑	38.0%	運動器 39.7% 転倒 39.6%	高齢化・身体機能リスク高
岩戸A	37.3%	閉じこもり 27.9%	外出機会の確保
岩戸B	24.7%	うつ 43.1%	人口最大
安徳A	30.7%	口腔 19.6%	概ね平均
安徳B	19.4%	多くのリスク低	自立度高

### (市平均)

運動器機能低下	25.3%
閉じこもり	21.0%
転倒リスク	37.5%

## 6 調査から見えるポイント

- ・市全体として高齢者の健康状態は概ね良好
- ・閉じこもりは改善傾向
- ・転倒リスクは増加
- ・圏域ごとに課題が異なる

## 7 今後の政策検討の方向

第10期介護保険事業計画に向けて以下の内容等を検討していく。

- ・圏域特性を踏まえた介護予防施策
- ・転倒予防対策の強化
- ・閉じこもり予防の推進

## 那珂川市 在宅介護実態調査結果（概要）

令和8年3月24日

### 1 調査の目的

在宅で介護を受けている高齢者の生活状況や家族介護の実態を把握し、第10期那珂川市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の基礎資料とする。

### 2 調査概要

#### 対象

65歳以上の高齢者（在宅で介護を受けている方）

#### 調査対象

500人

#### 回答者数

342人

#### 回答率

68.4%（前回調査 53.8% → +14.6pt）

#### 調査方法

郵送配布・郵送またはWeb回答

### 3 回答者の特徴

（年齢） 85歳以上 52.3%

（要介護度） 要介護1 38.0% 要介護2 30.4% 要介護3以上 31.5%

### 4 在宅介護の状況

調査結果から、那珂川市では家族介護を中心に在宅生活が継続されている状況がみられる。

#### 主な結果

（家族介護） ほぼ毎日 50.6%

（主な介護者） 子 53.7% 配偶者 32.6%

### 5 前回調査との比較

#### 主要指標の変化

項目	R4	R7
施設入所検討	24.2%（内申込済7.8%）	32.2%（内申込済16.1%）
介護離職	13.5%	15.3%
在宅継続支援ニーズ	移送サービス21.2%など	移送サービス26.6%など

## 6 在宅生活継続の課題

### （施設入所の検討）

32.2% ※要介護3以上 51.8%

### （在宅継続に必要な支援）

移送サービス（介護・福祉タクシー等） 26.6%

外出同行 23.4%

配食 21.6%

見守り 19.6%

## 7 介護者の負担

### （介護離職）

15.3%

### （主介護者年齢）

50代 28.9%      60代 31.4%      70代 23.6%

## 8 介護者の不安

認知症対応 40.9%

外出の付き添い・送迎 36.0%

夜間排泄 32.2%

## 9 調査から見えるポイント

- ・ 家族介護を中心に在宅生活が継続されている
- ・ 認知症対応や排泄介助が介護者の大きな負担
- ・ 外出支援など生活支援サービスのニーズが高い
- ・ 介護離職の課題が存在

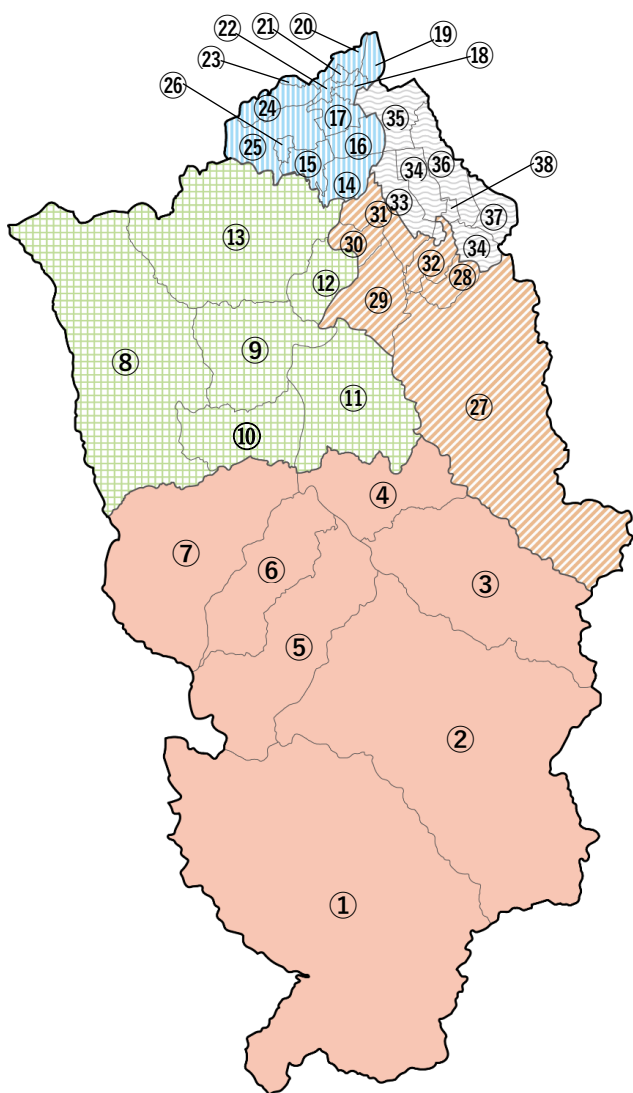
## 10 今後の政策検討の方向

第10期介護保険事業計画に向けて以下の内容等を検討していく。

- ・ 在宅介護を支える生活支援サービスの整備
- ・ 仕事と介護の両立支援

（参考）那珂川市 日常生活圏域の区分

地理的条件、人口規模、交通網等の社会的条件、公的介護施設等の整備状況、その他の条件を総合的に勘案し、生活を営む身近な地域として日常生活圏域を設定して介護基盤の整備等に取り組んでいます。

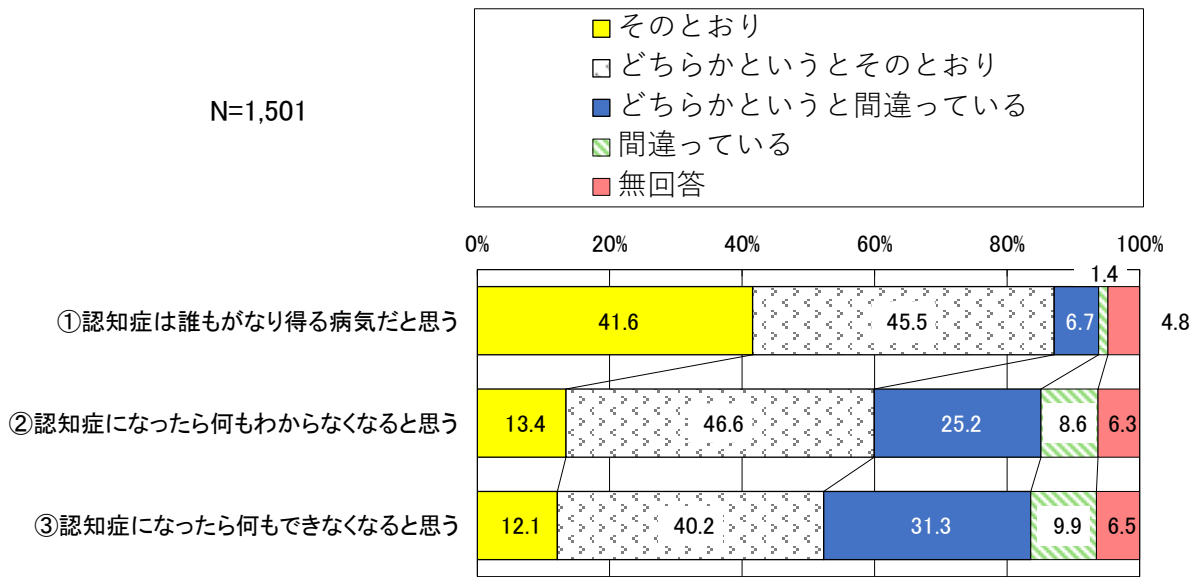


日常生活圏域	番号	行政区	日常生活圏域	番号	行政区
南畑地区	①	五ヶ山	安徳A地区	⑳	上梶原
	②	市ノ瀬		㉑	下梶原
	③	埋金		㉒	安徳
	④	不入道		㉓	東隈
	⑤	成竹		㉔	仲
	⑥	寺倉		㉕	王塚台
	⑦	南面里		㉖	五郎丸
岩戸A地区	⑧	西畑	安徳B地区	㉗	松木
	⑨	別所		㉘	今光
	⑩	井尻		㉙	中原
	⑪	山田		㉚	観晴が丘
	⑫	西隈		㉛	松原
	⑬	後野			
岩戸B地区	⑭	道善			
	⑮	恵子			
	⑯	片縄谷口			
	⑰	片縄内田			
	⑱	片縄観音堂			
	㉀	下片縄			
	㉁	下片縄西			
	㉂	片縄今池			
	㉃	片縄新町			
	㉄	片縄緑			
	㉅	片縄浦ノ原			
㉆	片縄丸ノ口				
㉇	片縄ときわ台				

出典：第9期那珂川市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

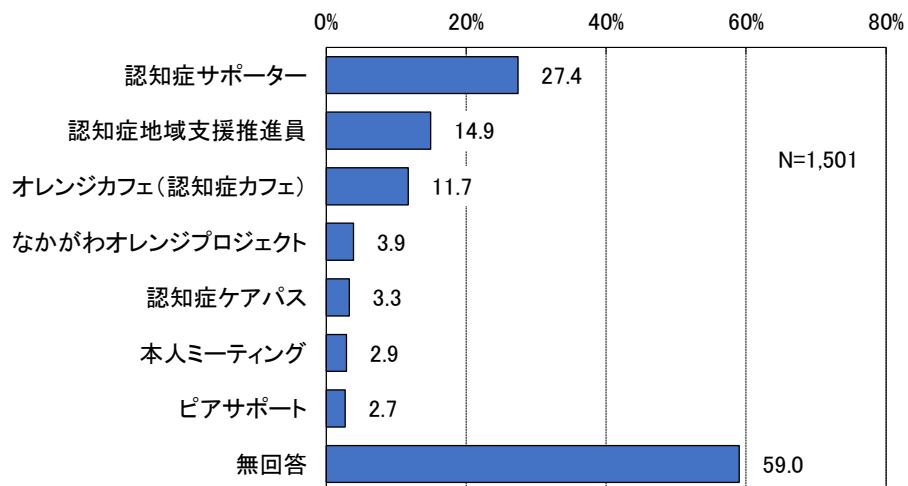
問10 認知症に対する理解について

(1) 認知症に関する①～③について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。



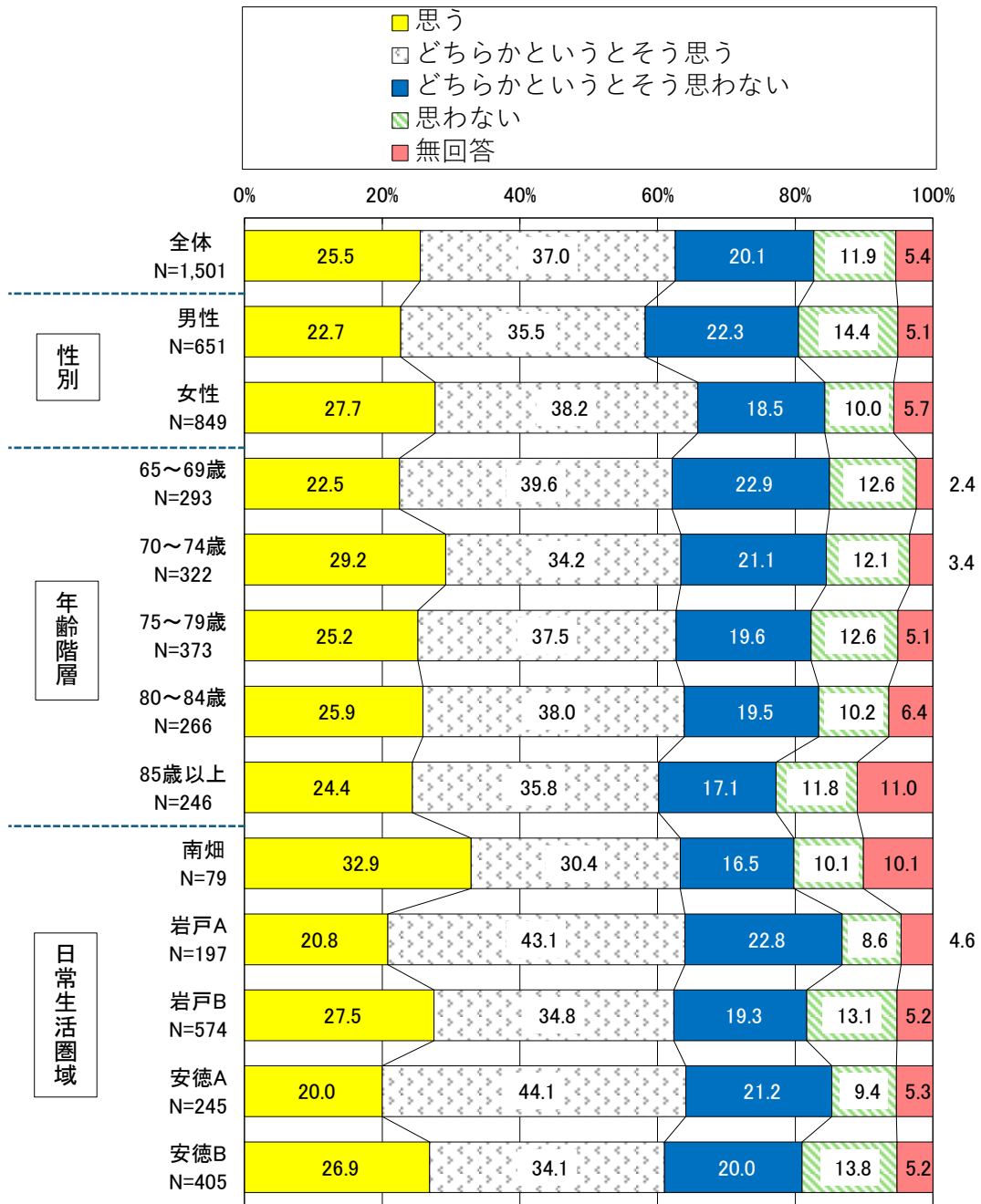
- 認知症に対する理解については、「誰もがなり得る病気」であるという認識（87.1%）はかなり浸透していますが、「認知症になったら何もわからなくなる」（60.0%）、「認知症になったら何もできなくなる」（52.3%）という誤った認識も根強く残っていることがわかります。

(2) 次の中であなたが知っている、または聞いたことがあるものはどれですか。（いくつでも）



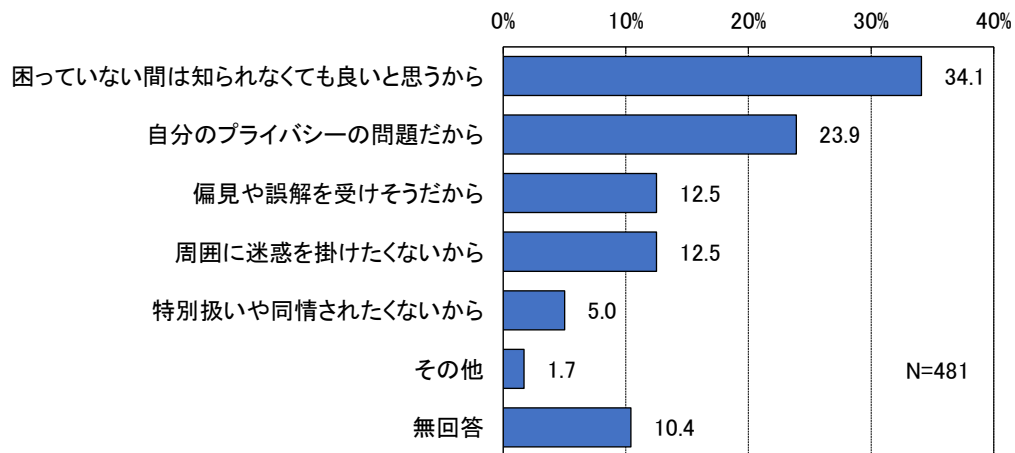
- 認知症に関する7つの言葉について、最も認知度が高かったのは「認知症サポーター」（27.4%）で、以下、「認知症地域支援推進員」（14.9%）、「オレンジカフェ（認知症カフェ）」（11.7%）と続いています。しかし、「無回答」が59.0%と圧倒的に高い割合となっており、認知症への各種取り組み等の認知が進んでいないことがわかります。

(3) もし、自分や家族が認知症になった場合、近所の人や地域の人たちに自分や家族が認知症だと知ってほしいと思いますか。



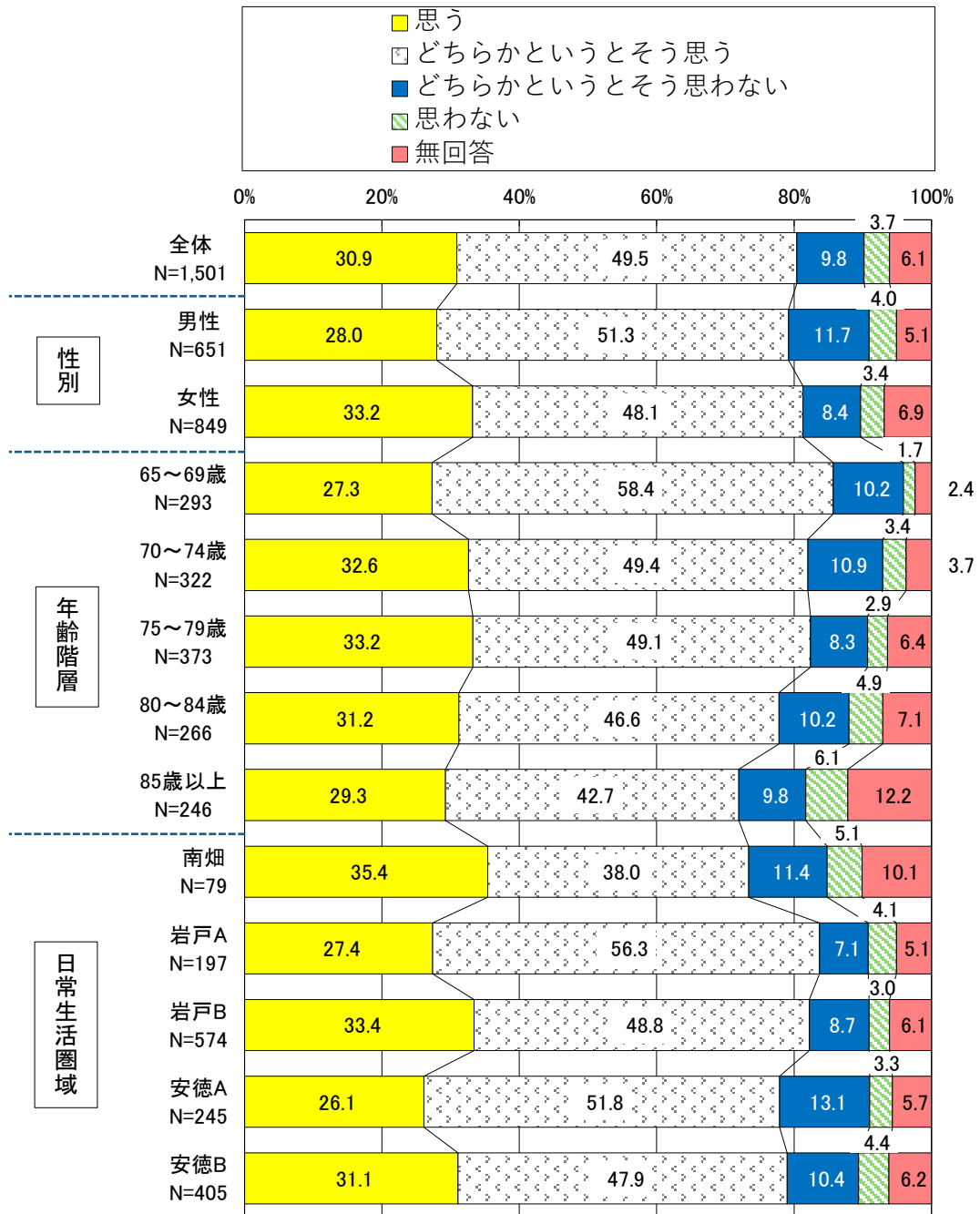
- もし、自分や家族が認知症になった場合、近所の人や地域の人たちに自分や家族が認知症だと知ってほしいと「思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は全体の62.5%で、「どちらかといえばそう思わない」「思わない」と回答した人の割合（32.0%）を30.5ポイント上回っています。
- 男女別にみると、近所の人や地域の人たちに自分や家族が認知症だと知ってほしいと「思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、男性（58.2%）より女性（65.9%）の方が7.7ポイント高くなっています。

（4）【（3）で「3. どちらかというと思わない」「4. 思わない」と回答した方のみ】  
その理由について、あなたの考えに最も近いものを以下から選んでください。（1つだけ）



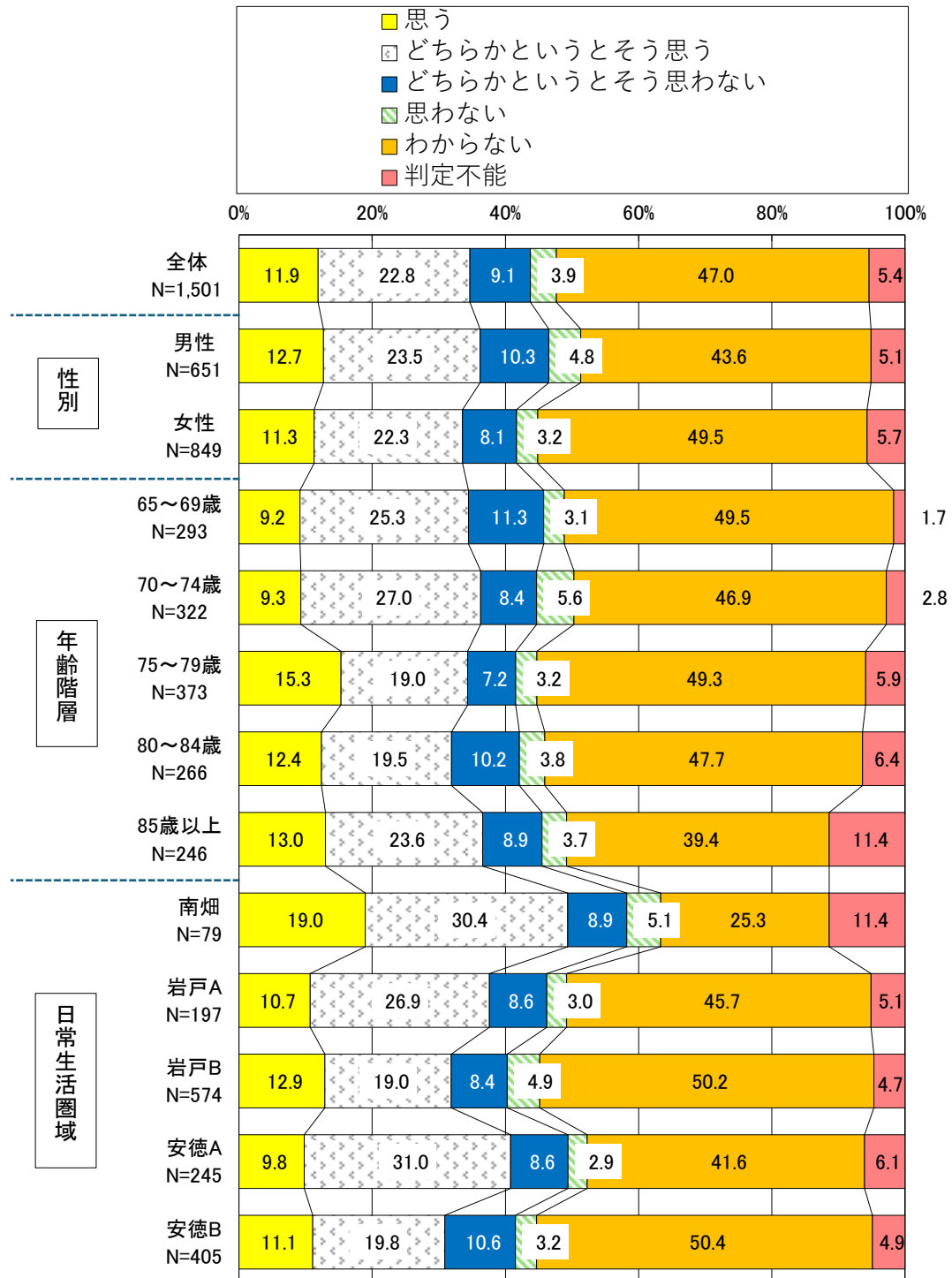
- 前問で、自分や家族が認知症になった場合、近所の人や地域の人たちに自分や家族が認知症だと知ってほしいと「思わない」「どちらかというと思わない」と回答した人にその理由をたずねたところ、「困っていない間は知られなくても良いと思うから」を選択した人が 34.1%と最も多く、以下、「自分のプライバシーの問題だから」（23.9%）、と続いています。  
一方で、「偏見や誤解を受けそうだから」と回答した人は 12.5%であり、認知症に対する偏見や誤解があると感じている人が一定数いることが読み取れます。

（5）認知症の人が困っていたらためらわずに手を差し伸べることができると思いますか。



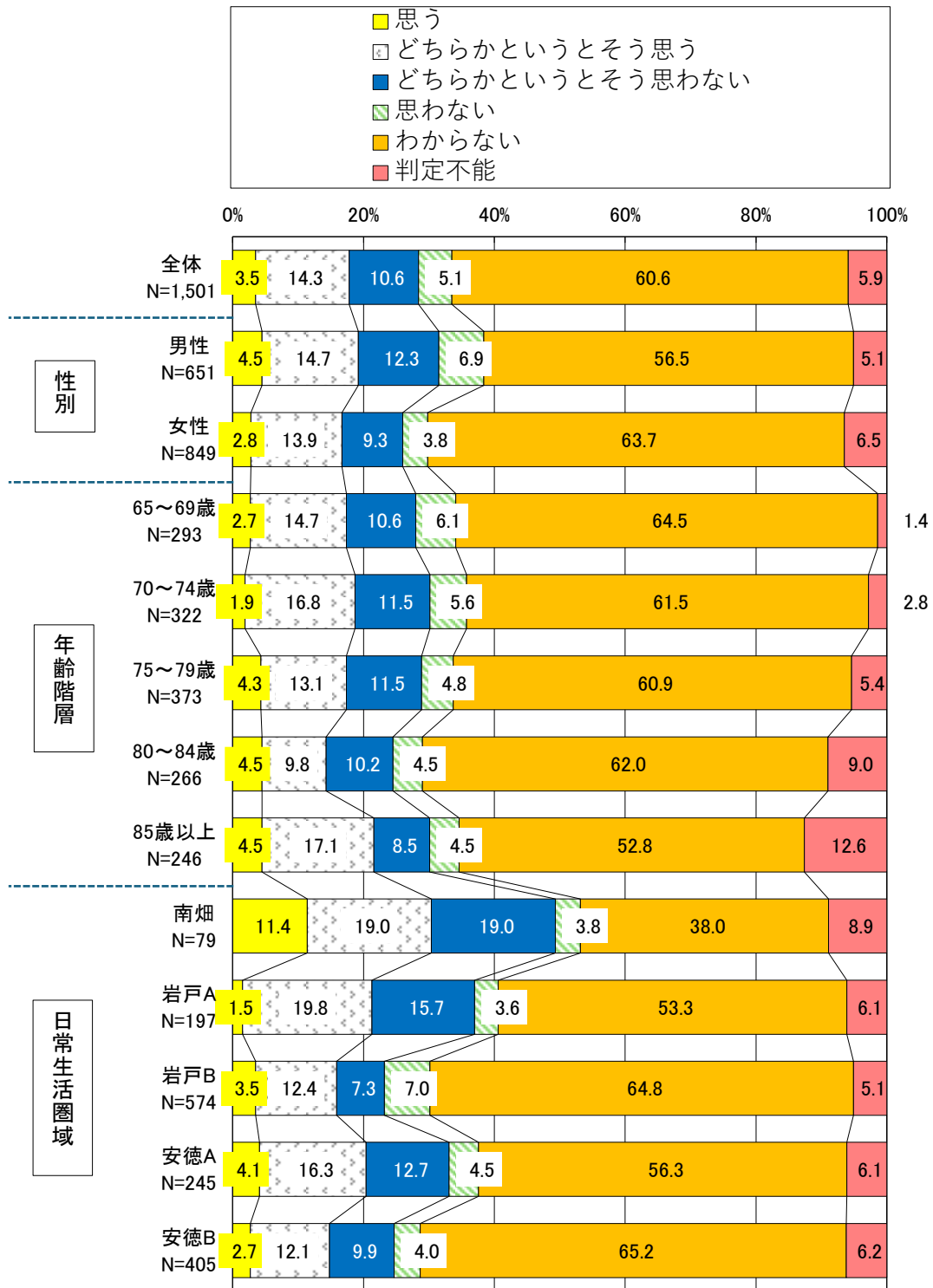
- 認知症の人が困っていたらためらわずに手を差し伸べることができる「思う」「どちらかといえどそう思う」と回答した人の割合は全体の80.4%で、「どちらかというと思わない」「思わない」と回答した人の割合（13.5%）を66.9ポイント上回っています。

（6）あなたの地域では認知症の人も地域の一員として受け入れられていると感じますか。



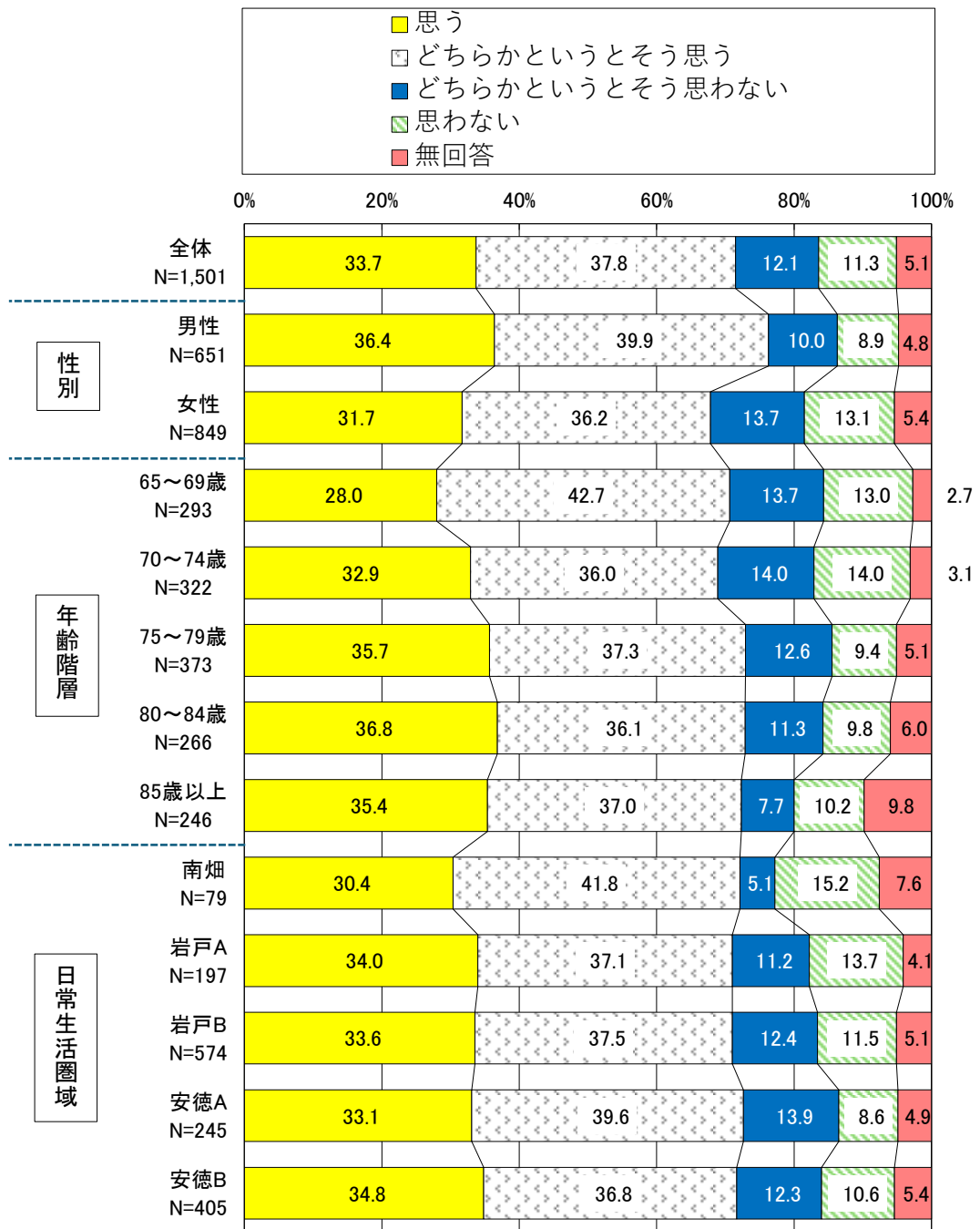
- 認知症の人も地域の一員として受け入れられていると「思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は全体の34.7%で、「どちらかといえばそう思わない」「思わない」と回答した人の割合（13.0%）を21.7ポイント上回っていますが、「わからない」という回答が47.0%と最も多くなっています。

（7）あなたが暮らす地域では地域生活の様々な場面で認知症の人の意思が尊重されていると思いますか。



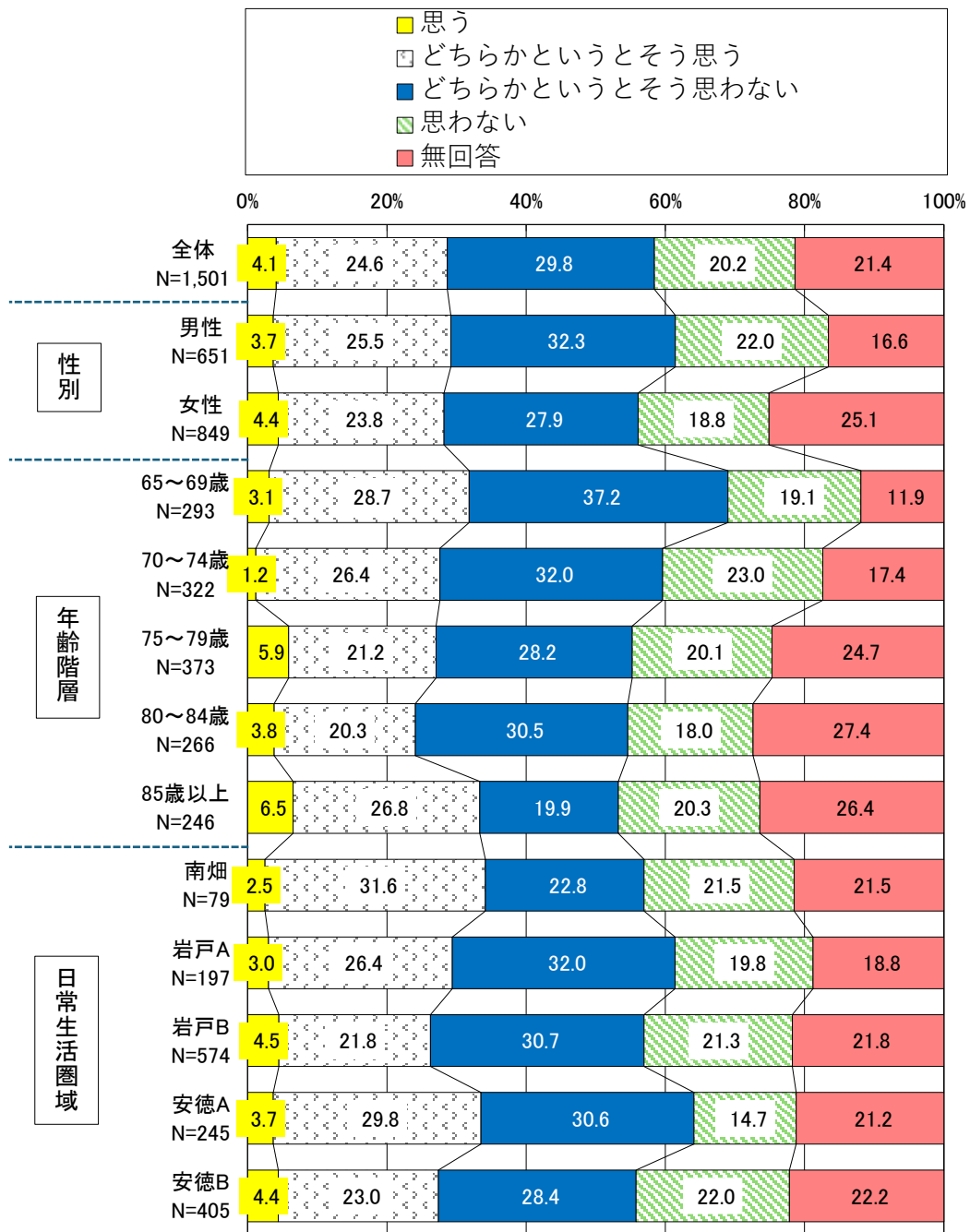
- 居住地域では地域生活の様々な場面で認知症の人の意思が尊重されていると「思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は全体の17.8%で、「どちらかというと思わない」「思わない」と回答した人の割合（15.7%）を2.1ポイント上回っていますが、「わからない」という回答が60.6%と圧倒的に多くなっています。

（8）もし、自分が認知症になったら、可能な限り在宅での生活を続けたいと思いますか。



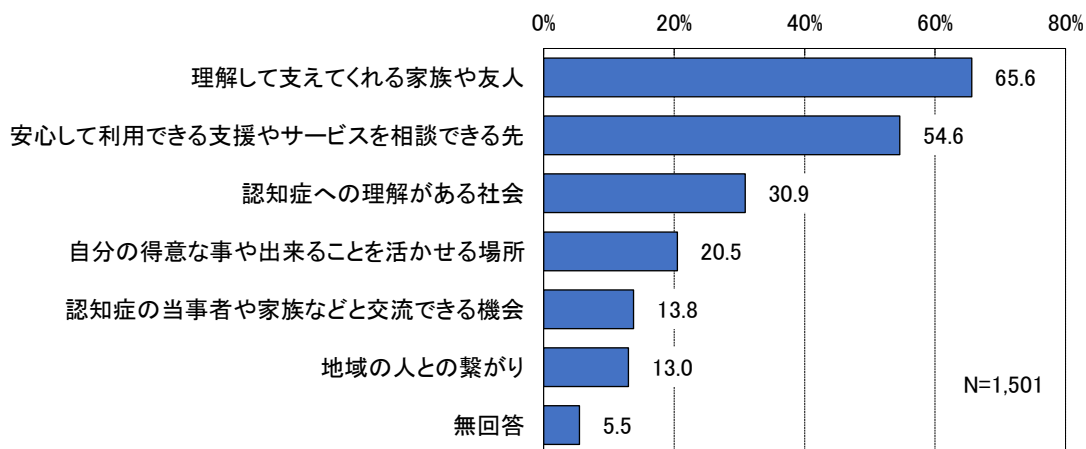
- もし、自分が認知症になったら、可能な限り在宅での生活を続けたいと「思う」「どちらかといえど思う」と回答した人の割合は全体の71.5%で、「どちらかというと思わない」「思わない」と回答した人の割合（23.4%）を48.1ポイント上回っています。

（9）あなたが暮らす地域では、認知症の人が生きがいや役割を持って暮らしていると思いますか。



- 居住地域では、認知症の人が生きがいや役割を持って暮らしていると「思う」「どちらかといえば思う」と回答した人の割合は全体の28.7%で、「どちらかというと思わない」「思わない」と回答した人の割合（50.0%）を21.3ポイント下回っています。

(10) もし、自分が認知症になったら、どのようなものがあれば自分らしく生きがいや役割を持って暮らしていけるとお思いますか。必要だと思うものを選んでください。



- 自分が認知症になった場合、自分らしく生きがいや役割を持って暮らしていくのに必要だと思うものとしては、「理解して支えてくれる家族や友人」を選択した人が65.6%と最も多く、以下、「安心して利用できる支援やサービスを相談できる先」（54.6%）、「認知症への理解がある社会」（30.9%）、「自分の得意な事や出来る事を活かせる場所」（20.5%）と続いています。

## 日常生活圏域ごとの特徴について

－那珂川市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果より－

	運動器の 機能低下	転倒	低栄養の 傾向	口腔機能 の低下	閉じこもり	認知機能 の低下	うつ傾向
市全体 R7	25.3%	37.5%	2.2%	27.4%	21%	39.7%	39.6%
市全体 R4	25.2%	35.7%	2.6%	30.0%	23.9%	42.9%	44.2%
市全体 R4→R7	+0.1	+1.8	-0.4	-2.6	-2.9	-3.2	-4.6
南畑地区 R7	32.9%	41.8%	3.8%	30.4%	24.1%	49.4%	40.5%
岩戸 A 地区 R7	27.9%	40.1%	2.5%	27.9%	29.9%	43.1%	35.5%
岩戸 B 地区 R7	27.9%	38.9%	1.9%	30.3%	20%	38.2%	41.8%
安徳 A 地区 R7	21.6%	35.9%	1.6%	19.6%	22.4%	42%	39.2%
安徳 B 地区 R7	21.2%	34.6%	2.5%	27.2%	16.5%	37%	38.5%

## 【南畑地区】

### （1）行政区

市ノ瀬、埋金、不入道、成竹、寺倉、南面里

### （2）地区の概要

令和7年12月1日時点の南畑地区の総人口は1,767人、そのうち65歳以上の人口は672人となっており、高齢化率は38.0%です。また、75歳以上の人口は、359人です。南畑地区の高齢化率は市内で1番目に高く、市全体の高齢化率を12.7ポイント上回っています。

	市全体		南畑地区	
	人数（人）	割合（%）	人数（人）	割合（%）
総人口	49,220	-	1,767	3.6
高齢者	12,442	25.3	672	38.0
前期高齢者	5,642	11.5	313	17.7
後期高齢者	6,800	13.8	359	20.3
要介護等認定者	2,168	17.4	137	20.4

資料：住民基本台帳（令和7年12月1日現在）

### （3）介護予防・日常生活圏域二エズ調査結果

	運動器の機能低下	転倒	低栄養の傾向	口腔機能の低下	閉じこもり	認知機能の低下	うつ傾向
市全体	25.3%	37.5%	2.2%	27.4%	21%	39.7%	39.6%
R7	32.9%	41.8%	3.8%	30.4%	24.1%	49.4%	40.5%
R4	29.0%	36.2%	1.4%	27.5%	26.1%	47.8%	44.9%
R4→R7	+3.9	+5.6	+2.4	+2.9	-2.0	+1.6	-4.4

## 【岩戸A地区】

### （1）行政区

西畑、別所、井尻、山田、西隈、後野

### （2）地区の概要

令和7年12月1日時点の岩戸A地区の総人口は4,399人、そのうち65歳以上の人口は1,640人となっており、高齢化率は37.3%です。また、75歳以上の人口は1,027人です。岩戸A地区の高齢化率は市内で2番目に高く、市全体の高齢化率を12ポイント上回っています。

	市全体		岩戸A地区	
	人数（人）	割合（%）	人数（人）	割合（%）
総人口	49,220	-	4,399	8.9
高齢者	12,442	25.3	1,640	37.3
前期高齢者	5,642	11.5	613	13.9
後期高齢者	6,800	13.8	1,027	23.4
要介護等認定者	2,168	17.4	334	20.4

資料：住民基本台帳（令和7年12月1日現在）

### （3）介護予防・日常生活圏域二一ズ調査結果

	運動器の機能低下	転倒	低栄養の傾向	口腔機能の低下	閉じこもり	認知機能の低下	うつ傾向
市全体	25.3%	37.5%	2.2%	27.4%	21%	39.7%	39.6%
R7	27.9%	40.1%	2.5%	27.9%	29.9%	43.1%	35.5%
R4	23.4%	39.8%	5.0%	38.3%	30.8%	49.3%	46.3%
R4→R7	+4.5	+0.3	-2.5	-10.4	-0.9	-6.2	-10.8

## 【岩戸B地区】

### （1）行政区

道善、恵子、片縄谷口、片縄内田、片縄観音堂、下片縄、下片縄西、片縄今池、片縄新町、片縄緑、片縄浦ノ原、片縄丸ノ口、片縄ときわ台

### （2）地区の概要

令和7年12月1日時点の岩戸B地区の総人口は19,256人、そのうち65歳以上の人口は4,754人となっており、高齢化率は24.7%です。また、75歳以上の人口は、2,680人です。岩戸B地区の高齢化率は市内で2番目に低く、市全体の高齢化率を0.6ポイント下回っています。

	市全体		岩戸B地区	
	人数（人）	割合（%）	人数（人）	割合（%）
総人口	49,220	-	19,256	39.1
高齢者	12,442	25.3	4,754	24.7
前期高齢者	5,642	11.5	2,074	10.8
後期高齢者	6,800	13.8	2,680	13.9
要介護等認定者	2,168	17.4	843	17.7

資料：住民基本台帳（令和7年12月1日現在）

### （3）介護予防・日常生活圏域二ーズ調査結果

	運動器の機能低下	転倒	低栄養の傾向	口腔機能の低下	閉じこもり	認知機能の低下	うつ傾向
市全体	25.3%	37.5%	2.2%	27.4%	21%	39.7%	39.6%
R7	27.9%	38.9%	1.9%	30.3%	20%	38.2%	41.8%
R4	29.3%	38.1%	1.8%	32.5%	23.7%	43.8%	44.7%
R4→R7	-1.4	+0.8	+0.1	-2.2	-3.7	-5.6	-2.9

## 【安徳A地区】

### （1）行政区

上梶原、下梶原、安徳、東隈、仲、王塚台

### （2）地区の概要

令和7年12月1日時点の安徳A地区の総人口は6,630人、そのうち65歳以上の人口は2,037人となっており、高齢化率は30.7%です。また、75歳以上の人口は、931人です。安徳A地区の高齢化率は市内で3番目に高く、市全体の高齢化率を5.4ポイント上回っています。

	市全体		安徳A地区	
	人数（人）	割合（%）	人数（人）	割合（%）
総人口	49,220	-	6,630	13.5
高齢者	12,442	25.3	2,037	30.7
前期高齢者	5,642	11.5	931	14.0
後期高齢者	6,800	13.8	1,106	16.7
要介護等認定者	2,168	17.4	332	16.3

資料：住民基本台帳（令和7年12月1日現在）

### （3）介護予防・日常生活圏域二ーズ調査結果

	運動器の機能低下	転倒	低栄養の傾向	口腔機能の低下	閉じこもり	認知機能の低下	うつ傾向
市全体	25.3%	37.5%	2.2%	27.4%	21%	39.7%	39.6%
R7	21.6%	35.9%	1.6%	19.6%	22.4%	42%	39.2%
R4	21.9%	34.8%	2.4%	25.9%	22.3%	40.9%	45.7%
R4→R7	-0.3	+1.1	-0.8	-6.3	+0.1	+1.1	-6.5

## 【安徳B地区】

### （1）行政区

五郎丸、松木、今光、中原、向原、松原

### （2）地区の概要

令和7年12月1日時点の安徳B地区の総人口は17,168人、そのうち65歳以上の人口は3,339人となっており、高齢化率は19.4%です。また、75歳以上の人口は、1,628人です。安徳B地区の高齢化率は市内で1番目に低く、市全体の高齢化率を5.9ポイント下回っています。

	市全体		安徳B地区	
	人数（人）	割合（%）	人数（人）	割合（%）
総人口	49,220	-	17,168	34.9
高齢者	12,442	25.3	3,339	19.4
前期高齢者	5,642	11.5	1,711	10.0
後期高齢者	6,800	13.8	1,628	9.4
要介護等認定者	2,168	17.4	522	15.5

資料：住民基本台帳（令和7年12月1日現在）

### （3）介護予防・日常生活圏域二一ズ調査結果

	運動器の機能低下	転倒	低栄養の傾向	口腔機能の低下	閉じこもり	認知機能の低下	うつ傾向
市全体	25.3%	37.5%	2.2%	27.4%	21%	39.7%	39.6%
R7	21.2%	34.6%	2.5%	27.2%	16.5%	37%	38.5%
R4	21.3%	29.9%	2.9%	24.7%	20.7%	37.9%	40.5%
R4→R7	-0.1	+4.7	-0.4	+2.5	-4.2	-0.9	-2.0